

1. 東京体育館

管理状況

適切な管理の履行	配点	評価	評価の内容
協定や事業計画に沿って、施設の安全性を確保しつつ、適切に管理が行われているか			
(1) 施設・設備の適切な管理（安全性の確保）	×2	○	(5)メインアリーナの稼働率が99%以上で推移し、かつ工事休館等の利用調整が困難な状況下においても、大会や新規大会の受け入れを実施している。優先受付時には使用不可期間の事前明示や受付要領の詳細な公表を行うとともに、日程・条件の代替提案や他施設の紹介を行っている。あわせて、長期休暇期間を中心とした学生利用の受け入れや、学校行事など公共性の高い小規模事業にも柔軟に対応し、運営を行っている。
(2) 施設の清掃（清潔さ）	×1	○	
(3) 施設の警備	×1	○	
(4) 人員配置及び人材育成の取組	×1	○	
(5) 施設の提供について	×1	◎	
法令等の遵守	配点	評価	評価の内容
個人情報保護、報告等は適切に行われているか			
(1) 個人情報保護・情報セキュリティ	×1	○	(3) 照明等のこまめな消灯による省エネルギー化や、適正なゴミの分別・処理、リサイクルを推進している。また、トナーカートリッジ等の消耗品においてはグリーン購入を実施しているほか、渋谷区の条例等に基づく環境保全計画の目標達成に向けた取組を行っている。 (4) 各種法令等の規程集を共有フォルダに保存し、全職員が常時閲覧可能な状態にすることで法令遵守の意識向上と徹底を図っている。
(2) 情報公開の取組	×1	○	
(3) 環境配慮への取組	×1	○	
(4) 各種法令等の遵守	×1	○	
緊急時の対応	配点	評価	評価の内容
災害や事故への備えが適切に行われているか			
(1) 都への報告・連絡	×1	○	(2) 災害発生時に備え、各グループから代表団体、所管局へと連なる迅速な緊急連絡・報告体制を整備している。 (3) 令和6年8月の浸水被害(自然災害による不可抗力)を教訓とし、集中豪雨等の予想時には気象情報を注視し、事前に関係者間で対応方針を協議するなど、組織的な未然防止策を講じている。
(2) 防災への配慮・緊急時対策	×1	○	
(3) 事故への対応	×1	○	
適切な財務運営・財産管理	配点	評価	評価の内容
適切な財務運営・財産管理が行われているか			
(1) 収支状況（安定的な運営）	×2	◎	(1) 団体の体育施設利用収入が好調を維持していることに加え、「地域感謝WEEK」や近隣ホテルとの連携企画等により個人利用料収入も増加している。これにより、前年度のマイナス収支からプラス収支へ転換した。
(2) 経理処理	×1	○	
(3) 物品の管理	×1	○	

事業効果

利用状況	配点	評価	評価の内容
利用促進効果			
(1) 利用状況	×2	◎	(1)「地域感謝WEEK」の実施や近隣ホテルとの連携、SNS広報等により、個人利用者数は昨年度から約1.8万人増の439,830人となった。団体利用においても、サブアリーナの利用推奨や半面利用の提案、空き状況の掲載等の工夫により、99%以上の高稼働率を維持している。
事業の取組	配点	評価	評価の内容
事業計画通りのサービスが提供されているか			
(1) スポーツ振興事業又は障害者スポーツ振興事業等の実施状況	×2	○	(4) 令和7年度アンケートの総合満足度は、個人利用が93.8%、団体利用が96.0%である。毎年3月に利用者懇談会を開催し意見・要望を取りまとめ都へ報告しているほか、団体利用時には直接要望をヒアリングし、仮設スタンドの部分補修、貸出備品の更新、暑さ対策、非常扉の調整等を実施し、対応状況を使用申込時に周知する等の対応を行っている。アンケートの自由記述等の課題はスタッフ間で共有し改善に繋げている。 (5)「地域感謝WEEK」における利用料無料化、津田塾大学との連携による学生利用料の負担軽減、近隣ホテルとの協定を通じた宿泊者のジム利用促進などを行っている。また、プール歩行コースの追い抜き禁止ルールを導入、車いす対応更衣室での低配置型水着脱水機・専用ドライヤーの維持と風除けカーテンの設置((簡易的な風除室を確保))、多言語放送設備の活用やホームページの英語表記修正、券売機料金案内の多言語化、案内表示の視覚的改善等を行っており、障害者の利用が増加(第1四半期8.8%増、第2四半期13.1%増)している。 (8) 周辺施設(MUFGスタジアム等)との定期的な情報共有会を通じた行事連携や屋外エリアの貸出、新秩父宮ラグビー場の建設・運営企業グループとの連絡調整体制構築のほか、都や環境局の各種工事の現場確認や打合せに協力している。世界陸上及びデフリンピックの開催にあたっては、早朝夜間の対応や飲食エリアとしての使用等の要望に対応し大会運営に貢献した。合わせて、経口補水液等の備蓄による熱中症対策を講じている。
(2) 自主事業の実施状況	×2	○	
(3) 利用者に対するサービス提供事業の実施状況	×2	○	
(4) 利用者ニーズの把握	×2	◎	
(5) サービス向上に向けた取組	×2	◎	
(6) 苦情等への対応	×1	○	
(7) 利用促進への取組	×2	○	
(8) 都の施策への協力等	×2	◎	

※評価： ◎水準を上回る（2点） ○水準どおり（1点） △水準を下回る（0点）

【一次評価結果】

合計点	一次評価結果
45 点	A

標準点 ※1			
34 点	評価基準 ※2	S	46点以上
		A	43点～45点
		B	30点～42点
		C	29点以下

- ※ 1 標準点は、評価項目が全て中位の評価を受けた場合の得点。
- ※ 2 「S」は標準点の1.33倍以上の場合、
「A」は標準点の1.25倍以上かつ1.33倍未満の場合、
「B」は標準点の0.88倍より大きくかつ1.25倍未満の場合、
「C」は標準点の0.88倍以下の場合。

【確認事項】

指定管理者の財務状況について
代表団体である（公財）東京都スポーツ文化事業団は、東京2025デフリンピック関連事業により収益規模が急拡大し黒字を確保しているが、指定管理関連収益（指定管理収益・体育施設利用料・施設使用料収益）自体は前期比▲266百万円減少しており、収益基盤の面ではやや弱含みが見られる。構成団体のうち㈱オーエンスは増収増益で財務内容も良好である一方、㈱ティップネスは大規模な特別損失計上により債務超過が拡大するなど、財務上の懸念が大きい。

2. 駒沢オリンピック公園総合運動場

管理状況

適切な管理の履行	配点	評価	評価の内容
協定や事業計画に沿って、施設の安全性を確保しつつ、適切に管理が行われているか			
(1) 施設・設備の適切な管理（安全性の確保）	×2	◎	(1) 日常巡回点検を1日3回以上(9時、12時、16時)実施するとともに、年間計画に基づく定期点検を行っている。電気やボイラー等の有資格者を法令基準通りに配置して自力修繕を行うほか、今年度からは管制塔など非改修の建物に対して自主的な「打診検査」(ハンマーを躯体に当てる検査)を開始している。
(2) 施設の清掃（清潔さ）	×1	○	
(3) 施設の警備	×1	○	
(4) 人員配置及び人材育成の取組	×1	○	
(5) 施設の提供について	×1	○	
法令等の遵守	配点	評価	評価の内容
個人情報保護、報告等は適切に行われているか			
(1) 個人情報保護・情報セキュリティ	×1	○	(3) 太陽光パネル発電量表示モニターや屋上緑化漏水使用量の可視化等により、節電・節水・再生エネルギー活用を推進している。ゴミの分別・処理やグリーン購入を実施しているほか、契約プラン見直しにより再生可能エネルギー由来の電力利用を50%に引き上げ、環境に配慮した自動車利用を徹底する等の取組を行っている。 (4) サーバー内に最新の法令等が参照できるページを設け、全職員が常時確認可能な状態にして法令遵守の意識向上を図っている。
(2) 情報公開の取組	×1	○	
(3) 環境配慮への取組	×1	○	
(4) 各種法令等の遵守	×1	○	
緊急時の対応	配点	評価	評価の内容
災害や事故への備えが適切に行われているか			
(1) 都への報告・連絡	×1	○	(2) 災害等対応マニュアルや消防計画を整備し、避難誘導路を確保している。AEDの園内マップへの明記や年2回の防災訓練、消防設備点検を実施しているほか、大規模水害時(荒川・江戸川等の氾濫)における広域避難調整を進めている。
(2) 防災への配慮・緊急時対策	×1	◎	
(3) 事故への対応	×1	○	
適切な財務運営・財産管理	配点	評価	評価の内容
適切な財務運営・財産管理が行われているか			
(1) 収支状況（安定的な運営）	×2	○	(2) 令和7年度から紙の帳票を廃止した新システムを稼働させ、前年度以上に迅速な突合と特定の担当者に依存しない事務処理を実現した。このシステムを活用して損益計算やキャッシュフローを適宜把握し、経営判断に役立てている。
(2) 経理処理	×1	○	
(3) 物品の管理	×1	○	

事業効果

利用状況	配点	評価	評価の内容
利用促進効果			
(1) 利用状況	×2	○	(1) 令和7年度の個人利用者数は、昨年度から5,270人(約3%)増加した。団体利用の希望が多い弓道場については、曜日や時間の組み合わせを工夫し、平日夜間や休日など、個人が利用しやすい時間帯を捻出し、利用者増につなげている。また、稼働率については、9施設中6施設で90%以上を維持している。
事業の取組	配点	評価	評価の内容
事業計画通りのサービスが提供されているか			
(1) スポーツ振興事業又は障害者スポーツ振興事業等の実施状況	×2	○	(2) 体育館リニューアルイベントでは、都と協力して「東京2020大会メモリアルデーイベント」を併催し、約5,000人が参加した。また、同イベントに合わせたレスリング関連や休戦ムラールの特別展示を、イベント後も継続展示している。 (4) 10月に実施したアンケートではノベルティの配布等により回答数の向上を図っている。令和7年度の総合満足度は、個人利用で97.5%、団体利用で98.6%となっている。利用者の声は事業計画へ反映し、要望を踏まえたグラウンドの土質改善やテニスコートの芝改修を実施予定である。 (8) 体育館の大規模改修においては、竣工に伴う管理作業とオープニングイベント準備が重なる中で開館とイベント開催を行った。また、軟式野球場については工事期間が変更となる中、その都度、都と連携して再開館を実施するなど利用率向上等の対応を行っている。
(2) 自主事業の実施状況	×2	◎	
(3) 利用者に対するサービス提供事業の実施状況	×2	○	
(4) 利用者ニーズの把握	×2	◎	
(5) サービス向上に向けた取組	×2	○	
(6) 苦情等への対応	×1	○	
(7) 利用促進への取組	×2	○	
(8) 都の施策への協力等	×2	◎	

※評価： ◎水準を上回る（2点） ○水準どおり（1点） △水準を下回る（0点）

【一次評価結果】

合計点	一次評価結果
43 点	A

標準点 ※1	評価基準 ※2	S	46点以上
34 点		A	43点～45点
		B	30点～42点
		C	29点以下

- ※ 1 標準点は、評価項目が全て中位の評価を受けた場合の得点。
- ※ 2 「S」は標準点の1.33倍以上の場合、
「A」は標準点の1.25倍以上かつ1.33倍未満の場合、
「B」は標準点の0.88倍より大きくかつ1.25倍未満の場合、
「C」は標準点の0.88倍以下の場合。

【確認事項】

指定管理者の財務状況について
代表団体である（公財）東京都スポーツ文化事業団は黒字を確保しているものの、指定管理関連収益そのものは前期比で減少しており、収益基盤の面では留意が必要である。構成団体の㈱オーエンス、（一社）東京都レクリエーション協会はいずれも増収増益・黒字拡大となっており、財務上の問題は見られない。

3. 東京武道館

管理状況

適切な管理の履行 協定や事業計画に沿って、施設の安全性を確保しつつ、適切に管理が行われているか	配点	評価	評価の内容
(1) 施設・設備の適切な管理（安全性の確保）	×2	◎	(1) 柔らかく負荷のかかりやすい第二武道場の床については毎週1回の状態確認を実施し、利用者からの指摘に対しても、迅速な修繕対応を実施している。また、デフリンピック開催時には、事前の植栽剪定や、バスの重量に耐えられない雨水枡への鉄製コンパネの敷設など、状況に応じた臨機応変な安全確保策を講じている。 (5) 優先受付や利用調整を実施し、希望日が重なる際は代替日を提示している。利用料金減免も施設側から団体へ案内している。また、「直前割引」等の独自割引やホームページでの空き状況発信により、平日や夜間の利用増加に繋げている。
(2) 施設の清掃（清潔さ）	×1	○	
(3) 施設の警備	×1	○	
(4) 人員配置及び人材育成の取組	×1	○	
(5) 施設の提供について	×1	◎	
法令等の遵守 個人情報保護、報告等は適切に行われているか	配点	評価	評価の内容
(1) 個人情報保護・情報セキュリティ	×1	○	(1) 共同事業体間で個人情報を共有しない等、厳格な適正管理を実施している。事業団は年1回、ティップネスは年2回の研修を実施するとともに、書類の施錠保管、PCのワイヤー固定やウイルス対策等の安全管理措置を実施し、漏えい等事故の発生はなかった。
(2) 情報公開の取組	×1	○	
(3) 環境配慮への取組	×1	○	
(4) 各種法令等の遵守	×1	○	
緊急時の対応 災害や事故への備えが適切に行われているか	配点	評価	評価の内容
(1) 都への報告・連絡	×1	○	(2) 緊急時対応マニュアルの策定、避難経路図の掲示、AEDの設置、備蓄品の管理を行っている。また、自衛消防訓練や設備点検を通じた消防機関との連携のほか、救急救命講習や訓練アンケートを活用した研修等を実施している。
(2) 防災への配慮・緊急時対策	×1	○	
(3) 事故への対応	×1	○	
適切な財務運営・財産管理 適切な財務運営・財産管理が行われているか	配点	評価	評価の内容
(1) 収支状況（安定的な運営）	×2	○	(3) 保全物品整理簿による年1回の棚卸を実施し、都の貸与備品にはシールを貼付して調達備品と区別している。業務日誌等を通じて備品の安全性を確認している。
(2) 経理処理	×1	○	
(3) 物品の管理	×1	○	

事業効果

利用状況 利用促進効果	配点	評価	評価の内容
(1) 利用状況	×2	○	(1) LINE広告の増加等の広報手法の見直しにより、個人利用者数は前年度から4,955人(7.1%)増加した。団体利用では、低稼働コマの割引や時間外利用への対応を行っている。また、接遇研修や複数名対応体制の構築を実施し、大武道場等の稼働率向上に繋げている。
事業の取組 事業計画通りのサービスが提供されているか	配点	評価	評価の内容
(1) スポーツ振興事業又は障害者スポーツ振興事業等の実施状況	×2	◎	(1) 「スポーツの日記念事業」において年齢等を問わないプログラムや茶道体験等を実施し、14,116名が参加した。参加者の84%が「大変満足・満足」と回答しており、実施後はアンケート等を踏まえた改善を図っている。 (2) 将棋・囲碁事業において日程集約によるコスト圧縮や複数人対局、段位認定等を実施している。武道・茶道体験ではアプリを用いた多言語音声ガイドを構築したほか、休館日を活用して地元小学校と連携したクイズラリー等を行っている。 (4) 10～11月に実施したアンケートの総合満足度は、個人利用者96.6%、団体利用者96.2%となっている。結果を分析・整理するほか、毎年3月に利用者懇談会を開催し、施設設備への要望について大規模修繕工事での対応を検討・周知する等の対応を行っている。 (7) 広報誌やHP、X、Instagram、Facebook、YouTubeを活用し、動画を使った情報発信を行っている。また、大規模事業開催時には民間イベントサイトへの情報掲載を施設側から働きかける等の広報活動を実施している。
(2) 自主事業の実施状況	×2	◎	
(3) 利用者に対するサービス提供事業の実施状況	×2	○	
(4) 利用者ニーズの把握	×2	◎	
(5) サービス向上に向けた取組	×2	○	
(6) 苦情等への対応	×1	○	
(7) 利用促進への取組	×2	◎	
(8) 都の施策への協力等	×2	○	

【一次評価結果】

合計点	一次評価結果
45 点	A

※1 標準点	評価基準 ※2	S	46点以上
34 点		A	43点～45点
		B	30点～42点
		C	29点以下

※ 1 標準点は、評価項目が全て中位の評価を受けた場合の得点。

※ 2 「S」は標準点の1.33倍以上の場合、
「A」は標準点の1.25倍以上かつ1.33倍未満の場合、
「B」は標準点の0.88倍より大きくかつ1.25倍未満の場合、
「C」は標準点の0.88倍以下の場合。

【確認事項】

指定管理者の財務状況について
代表団体である（公財）東京都スポーツ文化事業団は黒字を確保しているが、指定管理関連収益は前期比▲266百万円減少しており、収益基盤の面ではやや弱含みが見られる。構成団体の(株)東洋実業は増収減益ながら財務体質は改善しており問題はないが、(株)ティップネスは大規模な特別損失計上により債務超過が拡大するなど財務上の懸念が大きい。

※評価： ◎水準を上回る（2点） ○水準どおり（1点） △水準を下回る（0点）

4. 有明テニスの森公園テニス施設

管理状況

適切な管理の履行 協定や事業計画に沿って、施設の安全性を確保しつつ、適切に管理が行われているか	配点	評価	評価の内容
(1) 施設・設備の適切な管理（安全性の確保）	×2	○	(5)「業務内容及び管理運営の基準」に基づき適切な優先受付を実施しており、必要に応じて都と密に連携・確認を行っている。施設の利用調整においては、コロシアムのテニスコート面や体育館フロア等、利用形態に合わせた柔軟なスケジュール調整を実施している。令和8年度の大会調整では、テニスと他競技のコラボレーション等、積極的な新規事業展開も見据えた利用促進を図っている。
(2) 施設の清掃（清潔さ）	×1	○	
(3) 施設の警備	×1	○	
(4) 人員配置及び人材育成の取組	×1	○	
(5) 施設の提供について	×1	◎	
法令等の遵守 個人情報保護、報告等は適切に行われているか	配点	評価	評価の内容
(1) 個人情報保護・情報セキュリティ	×1	○	(3)省エネルギーへの取組として、電力契約の継続的な見直しを行い、令和7年度からは「100%再生可能エネルギー電力供給事業者」と契約を締結し、環境負荷低減に大きく寄与している。ゴミの適切な分別や処理、リサイクル等の取組も継続して実施している。また、環境美化ボランティアを年4回実施するとともに、電気自動車充電設備を新たに10台設置した。
(2) 情報公開の取組	×1	○	
(3) 環境配慮への取組	×1	◎	
(4) 各種法令等の遵守	×1	○	
緊急時の対応 災害や事故への備えが適切に行われているか	配点	評価	評価の内容
(1) 都への報告・連絡	×1	○	(1)救急・事故等の発生時に報告書を作成し都へ報告する体制を整備している。全社員へのスマートフォン支給による緊急連絡網を構築し、熱中症や負傷事案発生時の報告とデータ管理を行っている。
(2) 防災への配慮・緊急時対策	×1	○	
(3) 事故への対応	×1	○	
適切な財務運営・財産管理 適切な財務運営・財産管理が行われているか	配点	評価	評価の内容
(1) 収支状況（安定的な運営）	×2	◎	(1)コロシアム等の利用増により施設利用収入が計画を上回っている。また、修繕の直営作業化等により支出を抑制したことで光熱水費等の影響を吸収し、適切な財務状況下での管理運営を実現している。 (3)担当者が変更になっても備品の照合が一目で分かるよう、写真を貼付した独自の台帳を作成して備品管理を行っている。都の貸与備品にはシールを貼付して区別し、年1回以上の現物照合を実施している。
(2) 経理処理	×1	○	
(3) 物品の管理	×1	○	

事業効果

利用状況 利用促進効果	配点	評価	評価の内容
(1) 利用状況	×2	○	(1)団体利用については、テニスコートの稼働率が100%に近い状態の中、スケジュール調整により枠を捻出して新たな団体利用の受け入れや興行イベントの誘致に繋げている。
事業の取組 事業計画通りのサービスが提供されているか	配点	評価	評価の内容
(1) スポーツ振興事業又は障害者スポーツ振興事業等の実施状況	×2	◎	(1)新しいスポーツへの対応として、ピクセルボールの国内大会及び世界大会を誘致・開催した。 (5)新たな利用促進策として、SVリーグを誘致するなど、スポーツ利用の多角化を進めている。また、デフリンピックに向けた受付の「耳マーク」の掲示や、筆談ボード・手話アプリ等の導入を実施した。 (7)テニス閑散期におけるコロシアム利用促進として、「PRIME VIDEO BOXING」や「整体日本一決定戦」等の新規大規模大会を誘致した。 (8)コート塗り替え工事の際、施工進捗に合わせた利用範囲の閉鎖・再開等の利用調整を行い、例年以上の大会数を実施した。また、デフリンピック開催時には円滑な運営に向けてサポートし、大会の成功に貢献した。
(2) 自主事業の実施状況	×2	○	
(3) 利用者に対するサービス提供事業の実施状況	×2	○	
(4) 利用者ニーズの把握	×2	○	
(5) サービス向上に向けた取組	×2	◎	
(6) 苦情等への対応	×1	○	
(7) 利用促進への取組	×2	◎	
(8) 都の施策への協力等	×2	◎	

※評価： ◎水準を上回る（2点） ○水準どおり（1点） △水準を下回る（0点）

【一次評価結果】

合計点	一次評価結果
46 点	S

標準点 ※1	評価基準 ※2	S	46点以上
34 点		A	43点～45点
		B	30点～42点
		C	29点以下

- ※ 1 標準点は、評価項目が全て中位の評価を受けた場合の得点。
- ※ 2 「S」は標準点の1.33倍以上の場合、
「A」は標準点の1.25倍以上かつ1.33倍未満の場合、
「B」は標準点の0.88倍より大きくかつ1.25倍未満の場合、
「C」は標準点の0.88倍以下の場合。

【確認事項】

指定管理者の財務状況について
代表団体である東京港埠頭(株)は高い収益力と安全性を維持し安定している。構成団体の（公社）日本テニス事業協会は2期連続で赤字幅が拡大しているものの、借入金がなく直ちに資金繰りに支障をきたす状況ではない。全体として財務上の大きな問題はないが、日本テニス事業協会の収支改善が今後の課題である。

5. 若洲海浜公園ヨット訓練所

管理状況

適切な管理の履行 協定や事業計画に沿って、施設の安全性を確保しつつ、適切に管理が行われているか	配点	評価	評価の内容
(1) 施設・設備の適切な管理（安全性の確保）	×2	○	(1)維持管理ガイドライン及び定期的な点検報告に基づき、適切な監視・維持管理体制を維持している。空調設備の運用については、出力規模に応じた合理的な点検頻度となるよう仕様書の見直しを進めている。 (5)ヨット教室の開催や年間活動計画に沿った適切な利用調整を行っている。また、警察・消防・東京電力による災害対策訓練への施設提供など、東京の防災対応力の強化に貢献している。
(2) 施設の清掃（清潔さ）	×1	○	
(3) 施設の警備	×1	○	
(4) 人員配置及び人材育成の取組	×1	○	
(5) 施設の提供について	×1	○	
法令等の遵守 個人情報保護、報告等は適切に行われているか	配点	評価	評価の内容
(1) 個人情報保護・情報セキュリティ	×1	○	(3)「GHG報告書作成ツール」を用いてCO2排出量を算出し、R6年度(30t-CO2)からR7年度(17.4t-CO2)へと低減させる等、環境負荷低減に努めている。「節電対策計画表(冬版)」に基づき、照明や空調等の機器ごとに取組内容や規模を定めて運用しており、共用エリアの消灯等、効率的なエネルギー利用を実施している。電力については、100%再生可能エネルギーを使用している。
(2) 情報公開の取組	×1	○	
(3) 環境配慮への取組	×1	◎	
(4) 各種法令等の遵守	×1	○	
緊急時の対応 災害や事故への備えが適切に行われているか	配点	評価	評価の内容
(1) 都への報告・連絡	×1	○	(2)「緊急時アクションマニュアル」等を策定し、高潮等を想定した避難経路や本社・近隣公園との連携体制を定めている。AEDの設置やサイン掲出、一時滞在施設等の備蓄品管理を実施している。また、事業所防災計画表を用いた情報共有や消防設備点検、防災訓練を行うほか、スタッフによる上級救命技能認定証等の取得を推進している。
(2) 防災への配慮・緊急時対策	×1	○	
(3) 事故への対応	×1	○	
適切な財務運営・財産管理 適切な財務運営・財産管理が行われているか	配点	評価	評価の内容
(1) 収支状況（安定的な運営）	×2	○	(2) 会計システムを活用して事業ごとに経理処理を実施している。また、年1回の社内自主監査、監査法人による外部監査、グループによる内部監査を実施している。現金管理は「営業日報」等で記録・確認し、小口現金は申請書等の提出を定めて規定に則り処理するほか、関連書類の保存管理を行っている。
(2) 経理処理	×1	○	
(3) 物品の管理	×1	○	

事業効果

利用状況 利用促進効果	配点	評価	評価の内容
(1) 利用状況	×2	○	(1) 専門的な用具を所持していない方でも気軽に体験できるよう、丁寧な案内を行うことなどにより、ヨット教室の利用者数は前年度比8.3%増の1,506人に増加している。
事業の取組 事業計画通りのサービスが提供されているか	配点	評価	評価の内容
(1) スポーツ振興事業又は障害者スポーツ振興事業等の実施状況	×2	◎	(1)「障害者セーリング体験会」においては、1回の定員に限られる中でもより多くの方が体験できるよう一般社団法人パラセーリング東京と綿密に調整を行うとともに、付添者等も共に体験できる環境を整備するなど利用者の視点に立った細やかな運営を行っている。 (4) 年3回の利用者懇談会や四半期ごとのデジタルアンケート分析を実施し、改善策を検討している。アンケートの総合満足度は個人92.0%、団体100%となっている。 (5) 利用者の声を反映し4月下旬～9月上旬における利用時間の延長を実現した。また、誰もが利用しやすい施設としてスロープ設置等の動線確保、多言語自動翻訳機の導入、障害者へのスタッフサポート等を行っている。 (8) 若洲地区の連携イベントの開催や、近隣の特別支援学級のヨット体験受け入れを行っている。また、大規模工事においては、海域を使用する本施設の特性上、海上保安庁等との調整が不可欠であるが、工事業者への調整支援を行うなど、専門的な施設特性を踏まえた調整を実施した。
(2) 自主事業の実施状況	×2	○	
(3) 利用者に対するサービス提供事業の実施状況	×2	○	
(4) 利用者ニーズの把握	×2	◎	
(5) サービス向上に向けた取組	×2	◎	
(6) 苦情等への対応	×1	○	
(7) 利用促進への取組	×2	○	
(8) 都の施策への協力等	×2	◎	

※評価： ◎水準を上回る（2点） ○水準どおり（1点） △水準を下回る（0点）

【一次評価結果】

合計点	一次評価結果
43 点	A

標準点 ※1
34 点

評価基準 ※2	S	46点以上
	A	43点～45点
	B	30点～42点
	C	29点以下

※ 1 標準点は、評価項目が全て中位の評価を受けた場合の得点。

※ 2 「S」は標準点の1.33倍以上の場合、
「A」は標準点の1.25倍以上かつ1.33倍未満の場合、
「B」は標準点の0.88倍より大きくかつ1.25倍未満の場合、
「C」は標準点の0.88倍以下の場合。

【確認事項】

指定管理者の財務状況について
代表団体である東京港埠頭㈱は引き続き高い収益力と安全性を維持している。構成団体のNPO法人マリンプレイス東京は赤字幅は縮小したものの、赤字が継続しており、財務体質の改善が課題である。

6. 京王アリーナTOKYO（武蔵野の森総合スポーツプラザ）

管理状況

適切な管理の履行	配点	評価	評価の内容
協定や事業計画に沿って、施設の安全性を確保しつつ、適切に管理が行われているか			
（１）施設・設備の適切な管理（安全性の確保）	×2	◎	（１）利用者の安全を確保するため、床面の安全性向上や電源設備の増設等、利用ニーズに合わせた施設改善を計画的に実施している。 （５）イベント開催時は職員が運営本部に常駐し、迅速な連携が可能な体制をとっている。
（２）施設の清掃（清潔さ）	×1	○	
（３）施設の警備	×1	○	
（４）人員配置及び人材育成の取組	×1	○	
（５）施設の提供について	×1	○	
法令等の遵守	配点	評価	評価の内容
個人情報保護、報告等は適切に行われているか			
（１）個人情報保護・情報セキュリティ	×1	○	（３）特定地球温暖化対策事業所として、機器効率の最適化や待機電力削減等を実施している。また、太陽熱や地熱ヒートポンプ等の再生可能エネルギーを活用し、廃プラスチックの再資源化やグリーン購入を推進している。
（２）情報公開の取組	×1	○	
（３）環境配慮への取組	×1	○	
（４）各種法令等の遵守	×1	○	
緊急時の対応	配点	評価	評価の内容
災害や事故への備えが適切に行われているか			
（１）都への報告・連絡	×1	○	（２）コンソーシアム各社と連携したマンホールトイレ設置訓練、大会本部と連携した消防訓練、聴覚障がい者に配慮した避難訓練を実施している。また、消防署立ち会いでの消火訓練のほか、東京スタジアム社独自の取組として警察署指導による護身術やさすまた・盾を用いた凶器保持者への対処訓練を開催し、職員の初動対応や安全防衛スキルの向上を図っている。
（２）防災への配慮・緊急時対策	×1	◎	
（３）事故への対応	×1	○	
適切な財務運営・財産管理	配点	評価	評価の内容
適切な財務運営・財産管理が行われているか			
（１）収支状況（安定的な運営）	×2	◎	（１）令和7年5月から導入したネーミングライツにより収入が増加し、経営基盤が強化された。
（２）経理処理	×1	○	
（３）物品の管理	×1	○	

事業効果

利用状況	配点	評価	評価の内容
利用促進効果			
（１）利用状況	×2	○	（１）新規イベントの誘致、学校行事等の受け入れを行い、メイン・サブアリーナ共に毎月85%以上の稼働率となっている。団体利用人数が増加したほか、夏場のプール利用促進等により個人利用人数は前年比約16,000人（8.8%）増加している。
事業の取組	配点	評価	評価の内容
事業計画通りのサービスが提供されているか			
（１）スポーツ振興事業又は障害者スポーツ振興事業等の実施状況	×2	◎	（１）近隣施設や地元自治体と連携した事業のほか、京王電鉄と連携したトップアスリートによる直接指導や、職員が制作したプロジェクションマッピング動画の提供を実施している。また、聴覚障がい者向けの防災・避難訓練の実施や、視覚障がいのある利用者へ清掃状況を伝える対応を行っている。 （４）利用者アンケート結果の分析には外部の専門機関を活用し、客観的かつ高度な分析を実施している。例えば、「施設の所在地が分かりにくい」という利用者の声を分析にかけ、ネーミングライツの名称に「TOKYO」を冠する（京王アリーナTOKYO）改善につなげた結果、都外からの利用問い合わせが増加する等の具体的な成果を上げている。 （７）イベントチラシの近隣配布や、大規模イベント時の京王線主要駅へのポスター掲示を行っている。また、HPへのシェアサイクル利用案内の追加のほか、SNS等を通じた営業状況や駐車場情報等の毎朝の発信を実施している。 （８）地元自治体と連携し、星空観望会や地元製品の販売のほか、夏季期間中に市内の子供へのプール無料開放を実施している。また、周辺自治体主催の防災訓練への協力やマンホールトイレ設置等の訓練を実施するなど、防災対応力の強化に貢献している。
（２）自主事業の実施状況	×2	○	
（３）利用者に対するサービス提供事業の実施状況	×2	○	
（４）利用者ニーズの把握	×2	◎	
（５）サービス向上に向けた取組	×2	○	
（６）苦情等への対応	×1	○	
（７）利用促進への取組	×2	◎	
（８）都の施策への協力等	×2	◎	

【一次評価結果】

合計点	一次評価結果
47 点	S

標準点 ※1		
34 点	評価基準 ※2	
	S	46点以上
	A	43点～45点
	B	30点～42点
	C	29点以下

※ 1 標準点は、評価項目が全て中位の評価を受けた場合の得点。

※ 2 「S」は標準点の1.33倍以上の場合、
「A」は標準点の1.25倍以上かつ1.33倍未満の場合、
「B」は標準点の0.88倍より大きくかつ1.25倍未満の場合、
「C」は標準点の0.88倍以下の場合。

【確認事項】

指定管理者の財務状況について
代表団体である㈱東京スタジアムは大幅増収増益となり財務内容は良好であるが、東京都等地方自治体が主要株主であることから構成団体への統制力には留意が必要である。構成団体のうち㈱京王設備サービス、㈱シミズオクト、東京ビジネスサービス㈱はいずれも堅実な経営を維持しているが、㈱東京ドームスポーツは黒字転換したものの長期借入金が増し債務超過も継続しており、財務上の懸念が大きい。

※評価： ◎水準を上回る（2点） ○水準どおり（1点） △水準を下回る（0点）

7. 海の森水上競技場

管理状況	適切な管理の履行 協定や事業計画に沿って、施設の安全性を確保しつつ、適切に管理が行われているか	配点	評価	評価の内容
	(1) 施設・設備の適切な管理（安全性の確保）	×2	○	(5) 競技団体等に対して事前調査を実施し、利用調整を行っている。また、過去の音楽イベント視察を契機として新規イベントの誘致を行い、開催に向けて輸送・警備計画等について主催者と調整することで、イベント開催数の増加や継続的な施設利用に繋げている。
	(2) 施設の清掃（清潔さ）	×1	○	
	(3) 施設の警備	×1	○	
	(4) 人員配置及び人材育成の取組	×1	○	
	(5) 施設の提供について	×1	◎	
	法令等の遵守 個人情報保護、報告等は適切に行われているか	配点	評価	評価の内容
	(1) 個人情報保護・情報セキュリティ	×1	○	(3) 施設で使用する電力の「再生可能エネルギー100%」を実現している。また、都の重要施策である「HTT(電力をへらす・つくる・ためる)」の推進(業務車両への啓発シール掲示等)や、事務用品・印刷用紙におけるグリーン購入法適合品の積極的な導入、マニフェスト管理に基づく廃棄物の適正な分別およびリサイクル処理など、環境保全に向けた取り組みを多角的に実行している。HTTキャンペーンポスターを業務車両に掲示し、省エネについて利用者へ周知を図っている。
	(2) 情報公開の取組	×1	○	
	(3) 環境配慮への取組	×1	◎	
	(4) 各種法令等の遵守	×1	○	
	緊急時の対応 災害や事故への備えが適切に行われているか	配点	評価	評価の内容
	(1) 都への報告・連絡	×1	○	(2) 「危機管理マニュアル」を更新し、都と連携した災害時連絡体制を構築している。また、宿泊室への避難経路図の掲示、艇庫棟1階へのAED設置、グラウンドスタンド棟での一時滞在施設用備蓄品の保管を実施している。加えて、消防署と連携した消防訓練や通信訓練を実施するほか、職員の救命講習等の資格保有状況を一覧で管理している。
	(2) 防災への配慮・緊急時対策	×1	○	
	(3) 事故への対応	×1	○	
	適切な財務運営・財産管理 適切な財務運営・財産管理が行われているか	配点	評価	評価の内容
	(1) 収支状況（安定的な運営）	×2	○	(2) 各種帳簿や伝票に基づき、指定管理業務の経理を明確に区分して処理している。 (3) 「物品一覧表」等の台帳に基づき、備品の貸与・借用状況を明確に区分して適正に管理している。日々の巡回を通じて備品の良好な状態を確認・維持するとともに、亡失等が発生した際の事務処理手順も確立している。
	(2) 経理処理	×1	○	
	(3) 物品の管理	×1	○	
事業効果	利用状況 利用促進効果	配点	評価	評価の内容
	(1) 利用状況	×2	○	(1) 既存利用者へのヒアリングを踏まえ利用につなげる取組を実施したことにより、個人利用者数は前年度から1,302人(17%)増加した。また、大会開催数は目標の30大会を上回る36大会となり、全体の来場者数は前年度から約2万人増加した。
	事業の取組 事業計画通りのサービスが提供されているか	配点	評価	評価の内容
	(1) スポーツ振興事業又は障害者スポーツ振興事業等の実施状況	×2	○	(4) 利用者懇談会を実施するほか、アンケート等の意見に対して課題を抽出し対応している。意見・対応状況を事務所前に掲示するとともに、対応策をマニュアルに反映しており、アンケートの総合満足度は全体で90.7%、団体で100%となっている。 (8) 「海の森公園」とのイベント開催、環境局中防合同庁舎と連携した社会科見学を受け入れ、アクアティクスセンターやカヌー・スラロームセンターと連携した競技団体への宿泊場所提供を実施している。また、「東京ベイeSGプロジェクト」の実証実験の場として施設を提供している。
	(2) 自主事業の実施状況	×2	○	
	(3) 利用者に対するサービス提供事業の実施状況	×2	○	
	(4) 利用者ニーズの把握	×2	◎	
	(5) サービス向上に向けた取組	×2	○	
	(6) 苦情等への対応	×1	○	
	(7) 利用促進への取組	×2	○	
	(8) 都の施策への協力等	×2	◎	

※評価： ◎水準を上回る（2点） ○水準どおり（1点） △水準を下回る（0点）

【一次評価結果】

合計点	一次評価結果
40 点	B

標準点 ※1	評価基準 ※2	S	46点以上
34 点		A	43点～45点
		B	30点～42点
		C	29点以下

※1 標準点は、評価項目が全て中位の評価を受けた場合の得点。

※2 「S」は標準点の1.33倍以上の場合、
「A」は標準点の1.25倍以上かつ1.33倍未満の場合、
「B」は標準点の0.88倍より大きくかつ1.25倍未満の場合、
「C」は標準点の0.88倍以下の場合。

【確認事項】

指定管理者の財務状況について
代表団体である（一財）公園財団および構成団体の㈱協栄は増収増益基調で財務内容は良好であり、日建総業㈱も増収増益となったが有利子負債がやや増加している。一方、野村不動産ライフ＆スポーツ㈱は前期によりやく黒字化したところであったが、今期は巨額の特別損失計上により大幅な赤字に転落し債務超過が急拡大するなど、財務内容が急激に悪化しており、今後の動向を強く注視する必要がある。

8. 夢の島公園アーチェリー場

管 理 状 況	適切な管理の履行 協定や事業計画に沿って、施設の安全性を確保しつつ、適切に管理が行われているか	配点	評価	評価の内容
	(1) 施設・設備の適切な管理（安全性の確保）	×2	○	(1) 夢の島公園全体の設備監視の中で、不具合等の情報を共有する体制を取っている。また、芝生地の沈下事案発生時には該当箇所の封鎖と修復を行った。 (5) 多目的利用について利用調整を実施している。大型イベントの夜間実施に際しては、アーチェリーの実施計画と被らない日程への振替提案や周辺宿泊施設との調整を行い、競技とイベントの両立を図った。
	(2) 施設の清掃（清潔さ）	×1	○	
	(3) 施設の警備	×1	○	
	(4) 人員配置及び人材育成の取組	×1	○	
	(5) 施設の提供について	×1	◎	
	法令等の遵守 個人情報保護、報告等は適切に行われているか	配点	評価	評価の内容
	(1) 個人情報保護・情報セキュリティ	×1	○	(2)「情報公開要領」を公式ホームページ上で一般に広く公開し、透明性の確保に努めている。 (3) 事務所内での消灯の徹底や啓発ステッカーの掲示による省エネルギー活動、マニフェストに基づいた廃棄物の分別・回収を実施している。また、備品購入時のグリーン購入法適合品の選定を行うほか、地域特性を活かして廃棄される木のかんなくずや松ぼっくりを自主事業等で利用する活動を推進している。
	(2) 情報公開の取組	×1	○	
	(3) 環境配慮への取組	×1	○	
	(4) 各種法令等の遵守	×1	○	
	緊急時の対応 災害や事故への備えが適切に行われているか	配点	評価	評価の内容
	(1) 都への報告・連絡	×1	○	(2)利用者向けの「緊急時対応マニュアル」や「熱中症チェックリスト」の作成・提供、公式ホームページへの避難経路案内の掲載を実施している。休憩舎へのAED設置や備蓄品の保管を行うほか、巡回清掃時の消火器の目視点検を毎日実施し、防災訓練後にはミーティングを行って課題を職員間で共有している。
	(2) 防災への配慮・緊急時対策	×1	◎	
	(3) 事故への対応	×1	○	
	適切な財務運営・財産管理 適切な財務運営・財産管理が行われているか	配点	評価	評価の内容
	(1) 収支状況（安定的な運営）	×2	◎	(1) 多目的利用が増加したことから施設利用料収入は前年度比60%増となった。
	(2) 経理処理	×1	○	
	(3) 物品の管理	×1	○	

事 業 効 果	利用状況 利用促進効果	配点	評価	評価の内容
	(1) 利用状況	×2	○	(1) 大会開催数は提案目標20大会を上回る49大会となった。また、撮影の受入れや各種イベント等の誘致に積極的に取り組んでおり、団体利用数が前年度より増加している。
	事業の取組 事業計画通りのサービスが提供されているか	配点	評価	評価の内容
	(1) スポーツ振興事業又は障害者スポーツ振興事業等の実施状況	×2	○	(2)「ティラノサウルスレース」は昨年度より参加者が増加し705名（前年340名）となった。「はらっぱスポーツDAY！」ではヨガ教室とボールパークを同時開催し、保護者へ無料ヨガを提供した。 (8) 都立スポーツ施設との連携として、新たにティラノサウルスレースを開催する大井ホッケー場へ、当施設で開催した際の知見を共有するなど、施設を超えた連携を行っている。
	(2) 自主事業の実施状況	×2	◎	
	(3) 利用者に対するサービス提供事業の実施状況	×2	○	
	(4) 利用者ニーズの把握	×2	○	
	(5) サービス向上に向けた取組	×2	○	
	(6) 苦情等への対応	×1	○	
	(7) 利用促進への取組	×2	○	
	(8) 都の施策への協力等	×2	◎	

※評価： ◎水準を上回る（2点） ○水準どおり（1点） △水準を下回る（0点）

【一次評価結果】

合計点	一次評価結果
42 点	B

標準点 ※1	評価基準 ※2	S	46点以上
34 点		A	43点～45点
		B	30点～42点
		C	29点以下

※1 標準点は、評価項目が全て中位の評価を受けた場合の得点。

※2 「S」は標準点の1.33倍以上の場合、
「A」は標準点の1.25倍以上かつ1.33倍未満の場合、
「B」は標準点の0.88倍より大きくかつ1.25倍未満の場合、
「C」は標準点の0.88倍以下の場合。

【確認事項】

指定管理者の財務状況について
主に日比谷花壇グループでの構成であるが、代表団体の(株)日比谷アメニスをはじめ(株)日比谷花壇を除く各構成団体は増収基調で経営は概ね安定している。(株)日比谷花壇はようやく黒字転換したものの、流動比率が100%を下回り固定長期適合率も悪化するなど、財務基盤の脆弱性は依然として大きく、引き続き注視が必要である。

9. カヌー・スラロームセンター

管理状況

適切な管理の履行 協定や事業計画に沿って、施設の安全性を確保しつつ、適切に管理が行われているか	配点	評価	評価の内容
(1) 施設・設備の適切な管理（安全性の確保）	×2	◎	(1) 不具合時は第三種主任電気技術者等の専門資格を有する自社職員が迅速に初期対応・修繕を行うことで復旧期間の短縮を図っている。アクセスプールへのスロープ設置時にはパラカヌー協会立ち合いのもとで確認を行うなど、配慮の行き届いた安全管理を徹底している。 (2) 換水時のプール清掃にあたってはレール清掃や高圧洗浄装備等を明記した「換水清掃マニュアル」を新規に作成し、作業の標準化と職員の安全確保を図っている。このような取組により、清掃状況の利用者満足度は個人86.6%、団体100%となった。 (5) 競技利用の枠を確保しつつ、空きコマが生じた際にはスケジュールを公開しロケ撮影等を柔軟に受け入れる調整を行っている。また、水難事故防止教育プログラムや、カヌー大会にアウトドア・防災体験を盛り込んだ「TPGパーク」を同時開催するなど水上・陸域を組み合わせたした活用を実施している。
(2) 施設の清掃（清潔さ）	×1	◎	
(3) 施設の警備	×1	○	
(4) 人員配置及び人材育成の取組	×1	◎	
(5) 施設の提供について	×1	◎	
法令等の遵守 個人情報保護、報告等は適切に行われているか	配点	評価	評価の内容
(1) 個人情報保護・情報セキュリティ	×1	○	(3) 省エネルギーへの取組として、天候や年間の降雨量に応じた手動操作によるきめ細かな給水量調整を令和7年度から新たに導入し、光熱水費の抑制に取り組んでいる。また、都のグリーン購入ガイドラインに準拠し、電力量の100%を再生可能エネルギーとする受電契約への切り替えを完了した。
(2) 情報公開の取組	×1	○	
(3) 環境配慮への取組	×1	◎	
(4) 各種法令等の遵守	×1	○	
緊急時の対応 災害や事故への備えが適切に行われているか	配点	評価	評価の内容
(1) 都への報告・連絡	×1	○	(2) 体が濡れた状態でも正常にAEDが機能するよう吸水タオルを常備するほか、毎朝AEDの動作確認を実施。また、葛西海浜公園との合同防災訓練や計画停電時の復旧訓練を行うほか、アルバイト職員にも「認定スポーツ救急員プロバイダー」資格取得や救助・救命講習を実施している。
(2) 防災への配慮・緊急時対策	×1	◎	
(3) 事故への対応	×1	○	
適切な財務運営・財産管理 適切な財務運営・財産管理が行われているか	配点	評価	評価の内容
(1) 収支状況（安定的な運営）	×2	◎	(1) 水難防止イベント「カヌスラで海そなえ」の開催回数を令和6年度の1回から令和7年度は13回へ大幅に拡大するなど多目的利用を進めたことから、施設利用料収入を増加させる取り組みを実施している。
(2) 経理処理	×1	○	
(3) 物品の管理	×1	○	

事業効果

利用状況 利用促進効果	配点	評価	評価の内容
(1) 利用状況	×2	○	(1) 指定管理者自ら大会を開催するなど、工夫しながら大会数増に向けて意欲的に取り組んでおり、令和7年度は10大会（前年度より2大会増）を開催した。個人利用については、団体利用の増加や夏季の猛暑の影響もあり、約10%減少したが、日中の利用控えを見据え、「ナイトラフティングツアー」などの新たな取組を導入して来場者数の確保に努めている。
事業の取組 事業計画通りのサービスが提供されているか	配点	評価	評価の内容
(1) スポーツ振興事業又は障害者スポーツ振興事業等の実施状況	×2	◎	(1) 子供向けのマルチスポーツ体験や障害者向けカヌー教室を開催。ネットプロモータースコア(NPS)調査とイベント別アンケートを実施し、抽出課題から「課題対応記録」を作成して事業改善を図っている。 (2) 団体向けラフティングツアーでは、ゲストアスリートと参加者全員の交流機会を確保できるよう、ツアー中に選手がボートを乗り換える演出をスポンサー企業に主体的に提案するなど、利用者満足度の向上に向けた工夫を行っている。また、ゴールデンウィーク等のハイシーズンに合わせたファミリー向けイベントや、施設特性を活かした水難事故防止イベントを積極的に展開することで、普段水上スポーツに馴染みのない層も含めた幅広い都民の誘致・集客を推進している。 (7) 施設の「公式ガイドブック」を独自に作成し、都立スポーツ施設や江戸川区内の施設等27箇所へ配架した。SNSでは相互メンション等を実施し、フォロワーは2,100名から2,600名(500名増)となった。 (8) 近隣施設と連携し、半券提示割引やラフティングとBBQのセットプランを導入した。また、子ども向けイベントの開催や、都主催のイベントにおける会場・スタッフ手配等に協力している。
(2) 自主事業の実施状況	×2	◎	
(3) 利用者に対するサービス提供事業の実施状況	×2	○	
(4) 利用者ニーズの把握	×2	◎	
(5) サービス向上に向けた取組	×2	○	
(6) 苦情等への対応	×1	○	
(7) 利用促進への取組	×2	◎	
(8) 都の施策への協力等	×2	◎	

【一次評価結果】

合計点	一次評価結果
53 点	S

標準点 ※1	評価基準	S	46点以上
34 点		A	43点～45点
		B	30点～42点
		C	29点以下

- ※ 1 標準点は、評価項目が全て中位の評価を受けた場合の得点。
- ※ 2 「S」は標準点の1.33倍以上の場合、
「A」は標準点の1.25倍以上かつ1.33倍未満の場合、
「B」は標準点の0.88倍より大きくかつ1.25倍未満の場合、
「C」は標準点の0.88倍以下の場合。

【確認事項】

指定管理者の財務状況について
代表団体である㈱協栄は、民間及び公的施設について、スポーツ施設等を中心に長年管理している実績を有し、財務的にも無借金会社として安定的に運営されており、問題は検出されていない。

※評価： ◎水準を上回る（2点） ○水準どおり（1点） △水準を下回る（0点）

10. 大井ふ頭中央海浜公園ホッケー競技場

管理状況

適切な管理の履行	配点	評価	評価の内容
協定や事業計画に沿って、施設の安全性を確保しつつ、適切に管理が行われているか			
(1) 施設・設備の適切な管理（安全性の確保）	×2	○	(2)「大井ホッケー場設備点検維持管理業務マニュアル」において清掃作業基準を明確に定めており、公園管理業務と共通の清掃業務指示書を清掃員へ配布することで作業の標準化を図っている。また、施設環境のさらなる維持向上のため、本来年4回と定められているスポーツトラクターによる人工芝メンテナンスを年16回へと拡充して実施しており、この取組により、寝てしまった人工芝を起こして良好な競技コンディションを維持している。
(2) 施設の清掃（清潔さ）	×1	○	
(3) 施設の警備	×1	○	
(4) 人員配置及び人材育成の取組	×1	○	
(5) 施設の提供について	×1	○	
法令等の遵守	配点	評価	評価の内容
個人情報保護、報告等は適切に行われているか			
(1) 個人情報保護・情報セキュリティ	×1	○	(2)「情報公開要綱」をあらかじめ適切に策定している。なお、本年度における情報公開請求の事例はなかった。 (4)管理運営に関連する各種法令等について、職員が適宜閲覧・確認できるよう、リンク先や関係資料を体系的に取りまとめた環境を整備している。本年度における重大な法令違反の事実はなかった。
(2) 情報公開の取組	×1	○	
(3) 環境配慮への取組	×1	○	
(4) 各種法令等の遵守	×1	○	
緊急時の対応	配点	評価	評価の内容
災害や事故への備えが適切に行われているか			
(1) 都への報告・連絡	×1	○	(1)緊急連絡網を適切に整備するとともに、「事故等の報告について」のマニュアルや「けが人・病人情報」の記録様式をあらかじめ構築している。
(2) 防災への配慮・緊急時対策	×1	○	
(3) 事故への対応	×1	○	
適切な財務運営・財産管理	配点	評価	評価の内容
適切な財務運営・財産管理が行われているか			
(1) 収支状況（安定的な運営）	×2	◎	(1) 財務状況は計画に即し保持されている。シール材補修や製氷機フィルター清掃等、軽微な修繕を直営スタッフが実施し、年間修繕費は計画624万円に対し執行382万円に留めコスト縮減を図った。
(2) 経理処理	×1	○	
(3) 物品の管理	×1	○	

事業効果

利用状況	配点	評価	評価の内容
利用促進効果			
(1) 利用状況	×2	◎	(1)団体利用状況をみると、日々の施設利用を通じた競技団体への綿密な施設PR等が功を奏し、ラクロスやフラッグフットボール等の利用が大幅に増加した。大会数については、目標の23大会を達成し、令和6年度実績の47大会を上回る52大会（内訳：ホッケー30大会、ラクロス14大会、タッチラグビー2大会、フラッグフットボール5大会、フットサル1大会）が開催された。
事業の取組	配点	評価	評価の内容
事業計画通りのサービスが提供されているか			
(1) スポーツ振興事業又は障害者スポーツ振興事業等の実施状況	×2	○	(2)「フラッグフットボールスクール」や「ティラノサウルスレース」等の新規事業を実施した。既存事業の継続や新規事業の実施にあたっては、利用者アンケート結果やイベントの応募状況等のデータ分析を行っており、その結果、「エンジョイホッケー」参加者は62名（前年44名）、「体幹トレーニング」の満足度は81%となった。 (5)利用者のライフスタイルや競技ニーズを踏まえ、平日早朝利用に対しシフト勤務で対応し、夏季は早朝7時開館（スタッフ6時半開始）を実施。また、清掃をスポット対応から常駐スタッフの巡回・随時対応へ見直し、施設コンディションの維持向上を図ったほか、大会に合わせたゴールの新規調達や朝礼での手話を実施している。
(2) 自主事業の実施状況	×2	◎	
(3) 利用者に対するサービス提供事業の実施状況	×2	○	
(4) 利用者ニーズの把握	×2	○	
(5) サービス向上に向けた取組	×2	◎	
(6) 苦情等への対応	×1	○	
(7) 利用促進への取組	×2	○	
(8) 都の施策への協力等	×2	○	

【一次評価結果】

合計点	一次評価結果
42 点	B

標準点 ※1		
34 点	評価基準 ※2	S
		A
		B
		C

- ※ 1 標準点は、評価項目が全て中位の評価を受けた場合の得点。
- ※ 2 「S」は標準点の1.33倍以上の場合、
「A」は標準点の1.25倍以上かつ1.33倍未満の場合、
「B」は標準点の0.88倍より大きくかつ1.25倍未満の場合、
「C」は標準点の0.88倍以下の場合。

【確認事項】

指定管理者の財務状況について
主に日比谷花壇グループでの構成であり、代表団体の㈱日比谷アメニスをはじめ各構成団体は概ね増収基調で経営は安定している。太陽スポーツ施設(株)はやや収益性が低下しているが、財務の安全性は確保されており、全体として大きな問題は見られない。

※評価： ◎水準を上回る（2点） ○水準どおり（1点） △水準を下回る（0点）

1 1. 東京アクアティクスセンター

管理状況

適切な管理の履行	配点	評価	評価の内容
協定や事業計画に沿って、施設の安全性を確保しつつ、適切に管理が行われているか			
(1) 施設・設備の適切な管理（安全性の確保）	×2	○	(2) マニュアル内では写真を多用して器具の使い方や重点清掃箇所を詳細に示すことで、どの作業員が従事しても同様の仕上がりになるよう標準化を図る工夫を凝らしている。日常・定期清掃を実施し、アンケートの清掃満足度は個人89.6%、団体90.1%となった。 (4) 研修報告書には実施内容の写真のほか受講者の所感(フィードバック)が記録されており、受講者の理解度を高めるとともに、研修実施者が次回の研修へ反映しブラッシュアップを図る仕組みを確立している。職員対応満足度は個人98.5%、団体93.2%となった。 (5) デフリンピック関連においては、視察対応や個別の消防訓練のほか、大会時の行幸啓調整などにも適切に対応した。アジア大会に関しても、各担当ごとに数十回におよぶ視察対応や毎月1回の定例会への出席に加え、個別事項の詳細な検討・課題解決に向けて5つのワーキンググループ(WG)の立ち上げを指定管理者側から積極的に提案・稼働させるなど、水準を上回る優れた利用促進の成果を収めている。
(2) 施設の清掃（清潔さ）	×1	◎	
(3) 施設の警備	×1	○	
(4) 人員配置及び人材育成の取組	×1	◎	
(5) 施設の提供について	×1	◎	
法令等の遵守	配点	評価	評価の内容
個人情報保護、報告等は適切に行われているか			
(1) 個人情報保護・情報セキュリティ	×1	○	(3) 各種報告書に基づき省エネ活動を実施。契約電力を1,950kWから1,750kW(2年契約)へ変更、ガスを3年契約へ切り替えた。ろ過器運転調整で588t-CO2を削減し、公開時・夜間・大会時の選手数や水質に応じ各プールのろ過台数を切り替え調整している。また廃棄物処理や、都グリーン購入ガイド(2025年度版)・都環境基本計画に基づく取り組みを実践している。
(2) 情報公開の取組	×1	○	
(3) 環境配慮への取組	×1	○	
(4) 各種法令等の遵守	×1	○	
緊急時の対応	配点	評価	評価の内容
災害や事故への備えが適切に行われているか			
(1) 都への報告・連絡	×1	○	(2) デフリンピックの開催直前にアクア職員20名、デフリンピック運営職員6名、深川消防署員6名が参加した訓練を実施。屋外誘導時に観客がトイレ内に取り残された状況を想定した実践的な内容で行った。
(2) 防災への配慮・緊急時対策	×1	○	
(3) 事故への対応	×1	○	
適切な財務運営・財産管理	配点	評価	評価の内容
適切な財務運営・財産管理が行われているか			
(1) 収支状況（安定的な運営）	×2	○	(2) 指定管理業務にかかる経理の明確な区分管理を行っている。日々の経理状況は収支試算表等を通じて会計帳簿との整合性が確保されており、預金・現金の動向管理が明確化されている。
(2) 経理処理	×1	○	
(3) 物品の管理	×1	○	

事業効果

利用状況	配点	評価	評価の内容
利用促進効果			
(1) 利用状況	×2	○	(1) 個人利用は41,226人(前年比18.8%増)、メモリアルギャラリー等利用は34,444人(前年比13.8%増)と増加したが、団体利用者数が減少し、全体来場者数は661,384人(前年比3.8%減)となった。大会数は87大会(前年比2大会増)を開催した。
事業の取組	配点	評価	評価の内容
事業計画通りのサービスが提供されているか			
(1) スポーツ振興事業又は障害者スポーツ振興事業等の実施状況	×2	○	(3) 東京辰巳アイスアリーナの開業に伴い、利用者サービスの向上に向けた新たな取組として「アクアシャトルバス」の運行を開始し、双方のウェブサイトで案内している。 (4) 懇談会やアンケートを実施し、総合満足度は個人93.6%(R5:81.1%、R6:88.9%)、団体90.7%(R6:88.2%)となった。要望を受けタイマーの壁掛け式変更・増設(計4台)や案内表示リニューアル等を行った。 (5) 個人利用向けに夏休み期間において午前8時開館を実施。また、外国人対応として多言語通訳ツール(2026年4月開始)やUC機器による音声筆談を進め、案内表示リニューアル・英語併記追加を行った。また、リラックス効果を高めるためトレーニングルーム等への有線放送(BGM)の導入を行った。 (8) 若洲ヨット訓練所との子供ヨット体験、辰巳の森臨海公園や東京辰巳アイスアリーナとともに実施した地域クリーンウォーキング、海の森水上競技場の合宿など、都立スポーツ施設と連携した事業を実施している。また、7月に近隣小学校2校の「水泳記録会」を開催し近隣施設との連携も実施している。
(2) 自主事業の実施状況	×2	○	
(3) 利用者に対するサービス提供事業の実施状況	×2	◎	
(4) 利用者ニーズの把握	×2	◎	
(5) サービス向上に向けた取組	×2	◎	
(6) 苦情等への対応	×1	○	
(7) 利用促進への取組	×2	○	
(8) 都の施策への協力等	×2	◎	

※評価： ◎水準を上回る（2点） ○水準どおり（1点） △水準を下回る（0点）

【一次評価結果】

合計点	一次評価結果
45 点	A

※1	
標準点	
34 点	

評価基準 ※2	S	46点以上
	A	43点～45点
	B	30点～42点
	C	29点以下

※1 標準点は、評価項目が全て中位の評価を受けた場合の得点。

※2 「S」は標準点の1.33倍以上の場合、
「A」は標準点の1.25倍以上かつ1.33倍未満の場合、
「B」は標準点の0.88倍より大きくかつ1.25倍未満の場合、
「C」は標準点の0.88倍以下の場合。

【確認事項】

指定管理者の財務状況について
本センターは指定管理者である（公財）東京都スポーツ文化事業団は赤字を確保しているものの、東京2025デフリンピック関連事業による収益規模の急拡大の一方で、指定管理関連収益そのものは前期比で減少しており、収益基盤の面では留意が必要である。構成団体の(株)オーエンス、セントラルスポーツ(株)は増収増益で堅調であり、（公財）東京都水泳協会は今期単年度収支が赤字に転じたものの、財務基盤自体は引き続き安定している。

1 2 . 東京都パラスポーツトレーニングセンター

管 理 状 況	適切な管理の履行 協定や事業計画に沿って、施設の安全性を確保しつつ、 適切に管理が行われているか	配点	評価	評価の内容
	(1) 施設・設備の適切な管理 (安全性の確保)	×2	○	(2)「清掃実施計画」および「清掃作業マニュアル」を整備し、これらマニュアル等に基づく適正な清掃体制を構築している。利用者アンケートにおける「清掃状態」の満足度(十分満足している・まあ満足しているの合計)は、個人利用で93.1%、団体利用で88.4%と高い評価を得ている。 (4) スポーツ系・事務系の全職員12名が「初級パラスポーツ指導員」以上の資格を保有している。窓口対応から現場指導まで、どの職員であっても利用者の障害特性を理解したサポートが可能となり、有資格者配置によって安全性を高めている。
	(2) 施設の清掃 (清潔さ)	×1	○	
	(3) 施設の警備	×1	○	
	(4) 人員配置及び人材育成の取組	×1	○	
	(5) 施設の提供について	×1	○	
	法令等の遵守 個人情報保護、報告等は適切に行われているか	配点	評価	評価の内容
	(1) 個人情報保護・情報セキュリティ	×1	○	(3) 人感センサー導入や未使用エリアの消灯を実施。廃棄物は分別し調布市指定業者にて処理している。グリーン購入法適合コピー用紙の導入やリサイクルによりゴミ排出量を削減している。
	(2) 情報公開の取組	×1	○	
	(3) 環境配慮への取組	×1	○	
	(4) 各種法令等の遵守	×1	○	
	緊急時の対応 災害や事故への備えが適切に行われているか	配点	評価	評価の内容
	(1) 都への報告・連絡	×1	○	(2) 緊急時の連絡体制については、安否確認サービスを導入し、災害発生時にクラウド上で各自の安否を確認できる仕組みを整えている。避難経路図の掲示、備蓄品保管、AED2箇所の配置を実施。味の素スタジアムとの合同防災訓練(6・11月)に加え、非常用発電機や救護法(ストレッチャーや三角巾等)の実践訓練、消防設備点検を実施し、全職員が救命技能認定証を所持している。
	(2) 防災への配慮・緊急時対策	×1	○	
	(3) 事故への対応	×1	○	
	適切な財務運営・財産管理 適切な財務運営・財産管理が行われているか	配点	評価	評価の内容
	(1) 収支状況 (安定的な運営)	×2	○	(2)経理処理のチェック体制は、現地経理でのダブルチェック、協会本部でのチェック、および税理士による月次チェックという「3体制でのチェック機構」を構築し、透明性を高めている。
	(2) 経理処理	×1	○	
	(3) 物品の管理	×1	○	

事 業 効 果	利用状況 利用促進効果	配点	評価	評価の内容
	(1) 利用状況	×2	◎	(1) 個人利用者数は前年度から1,000人以上の増加し、3,337人(前年度比52.1%増)となった。味の素スタジアム感謝デー等の大型イベントにおける周知やチラシ配布の取組により個人利用の増加につながっている。また、団体利用についても無料キャンペーン等を実施し利用増へつなげている。
	事業の取組 事業計画通りのサービスが提供されているか	配点	評価	評価の内容
	(1) スポーツ振興事業又は障害者スポーツ振興事業等の実施状況	×2	○	(4) 令和7年度から、対象団体と「意見交換会」を開催している。アンケートを実施し、満足度は個人97.1%、団体90.7%となった。味の素スタジアムと連携し、周辺の案内サイン約50箇所の新設・増設を完了させた。 (5) 送迎車両についてはハイエースからマイクロバスへ変更し、乗車可能座席数を増やした。無料送迎バスは西武多摩川線多磨駅と京王線飛田給駅の2箇所を発着地としているが、実際の利用需要に合わせて多磨駅発着便を減らし、飛田給駅発着便を増やすダイヤ見直しを行い、利用者増につなげている。 (7)令和7年度から「地球の歩き方 調布市」や「武蔵野くろすとーく」への掲載を実施するとともに、近隣施設や飛田給駅へラックの新設を依頼し配架している。SNS(X)における「勝ち飯教室」告知のインプレッション数は約2,000から約8,000へ増加した。
	(2) 自主事業の実施状況	×2	○	
	(3) 利用者に対するサービス提供事業の実施状況	×2	○	
	(4) 利用者ニーズの把握	×2	◎	
	(5) サービス向上に向けた取組	×2	◎	
	(6) 苦情等への対応	×1	○	
	(7) 利用促進への取組	×2	◎	
	(8) 都の施策への協力等	×2	○	

※評価： ◎水準を上回る（2点） ○水準どおり（1点） △水準を下回る（0点）

【一次評価結果】

合計点	一次評価結果
42 点	B

標準点 ※1	評価基準 ※2	S	46点以上
34 点		A	43点～45点
		B	30点～42点
		C	29点以下

※ 1 標準点は、評価項目が全て中位の評価を受けた場合の得点。

※ 2 「S」は標準点の1.33倍以上の場合、
「A」は標準点の1.25倍以上かつ1.33倍未満の場合、
「B」は標準点の0.88倍より大きくかつ1.25倍未満の場合、
「C」は標準点の0.88倍以下の場合。

【確認事項】

指定管理者の財務状況について
代表団体である（公社）東京都障害者スポーツ協会は、経常収支の赤字幅が前期から大幅に拡大し、正味財産も大きく減少するなど、財務基盤の脆弱性が顕在化してきている。構成団体の(株)東京スタジアムは増収増益で財務内容は良好であるが、代表団体の収支動向には引き続き注意が必要である。

1 3 . 東京都障害者総合スポーツセンター

管理状況

適切な管理の履行	配点	評価	評価の内容
協定や事業計画に沿って、施設の安全性を確保しつつ、適切に管理が行われているか			
(1) 施設・設備の適切な管理（安全性の確保）	×2	○	(2)「清掃業務仕様書」等の各種仕様書および清掃マニュアルを整備し、「清掃業務日誌」を通じて委託業者との打ち合わせ状況を記録している。日常清掃および定期清掃については、日誌や報告書により仕様書に沿った回数・内容で実施されている。利用者アンケートにおける清掃状態に関する満足度は、個人利用で92.4%、団体利用で86.4%となっている。 (4) 要員や有資格者を配置し責任者を明確化。アルバイトへの指導や全職員対象の研修を実施している。障害者雇用は職員2名(前年比1名増、時短勤務等の配慮あり)、アルバイト3名(前年比2名増)を採用した。マニュアルに基づく接遇を実践し、職員対応満足度は個人91.8%、団体85.1%となった。利用者からの視認性に配慮した「ひらがな表記」の名札を着用している。
(2) 施設の清掃（清潔さ）	×1	○	
(3) 施設の警備	×1	○	
(4) 人員配置及び人材育成の取組	×1	○	
(5) 施設の提供について	×1	○	
法令等の遵守	配点	評価	評価の内容
個人情報保護、報告等は適切に行われているか			
(1) 個人情報保護・情報セキュリティ	×1	○	(3) LED照明への更新や節水型シャワーヘッドを採用している。電力調達では再生可能エネルギー100%の契約を継続している。また、ゴミの分別・リサイクルの徹底のほか、過剰包装のない物品調達やリサイクル可能な資材の選択など、日常的な環境保全活動に努めている。
(2) 情報公開の取組	×1	○	
(3) 環境配慮への取組	×1	◎	
(4) 各種法令等の遵守	×1	○	
緊急時の対応	配点	評価	評価の内容
災害や事故への備えが適切に行われているか			
(1) 都への報告・連絡	×1	○	(2)「災害時行動マニュアル」および「消防計画」に基づき、災害発生時の対応マニュアルと連絡体制を整備している。消防計画には避難誘導路(地図)が明記されているが、施設特性を踏まえ利用者の混乱を防ぐため避難経路図の常設掲示は行わず、災害時には職員が直接誘導を実施する運用としている。防災訓練について、12月に当施設、北療育医療センター、北特別支援学校の合同による総合防災訓練を実施し、行動マニュアルに基づく各職員の実践的な役割確認を行った。
(2) 防災への配慮・緊急時対策	×1	○	
(3) 事故への対応	×1	○	
適切な財務運営・財産管理	配点	評価	評価の内容
適切な財務運営・財産管理が行われているか			
(1) 収支状況（安定的な運営）	×2	○	(2)経理処理のチェック体制として、小口現金担当と経理担当の役割を分担し、施設経理担当者による日次チェックと協会本部経理担当による月次チェックのダブルチェック機構を構築している。
(2) 経理処理	×1	○	
(3) 物品の管理	×1	○	

事業効果

利用状況	配点	評価	評価の内容
利用促進効果			
(1) 利用状況	×2	○	(1)個人利用状況については、個人利用者数が120,768人となり、昨年度の100,806人から19.8%増加している。今年度は団体利用枠において予約が入らなかったコマを個人利用枠として開放する施設運用の変更を行い、個人利用機会の拡大を図っている。団体利用状況についても、12月末時点の団体利用者数が30,327人となり、昨年度同期の24,116人から増加している。
事業の取組	配点	評価	評価の内容
事業計画通りのサービスが提供されているか			
(1) スポーツ振興事業又は障害者スポーツ振興事業等の実施状況	×2	○	(4) 5月に懇談会を実施。アンケートの実施期間延長により回答数は474件(前年348件)へ増加し、総合満足度は個人96.2%、団体93.3%となった。寄せられた意見は共有・データベース化し、結果の掲示や直接回答を行っている。 (5) 利用者向けの独自工夫として、握力が弱い利用者をサポートする樹脂製補助グローブの導入、ランニングマシンへの伴走者代わりの紐の設置(利用者に合わせた高さ・位置調整)、レッグプレスへの脱力による脚落下防止用サポーターの設置、傷病者移動用のリクライニング車いすの導入など、安全・安心な施設環境を提供するための細やかな設備対応を行っている。多様な利用者への環境整備として、家族更衣室をバリアフリー更衣室へ用途変更し、家族同士や異性介護、乳幼児のオムツ交換・授乳等に向けた多目的スペースとして運用している。
(2) 自主事業の実施状況	×2	－	
(3) 利用者に対するサービス提供事業の実施状況	×2	○	
(4) 利用者ニーズの把握	×2	◎	
(5) サービス向上に向けた取組	×2	◎	
(6) 苦情等への対応	×1	○	
(7) 利用促進への取組	×2	○	
(8) 都の施策への協力等	×2	○	

※評価： ◎水準を上回る（2点） ○水準どおり（1点） △水準を下回る（0点）

【一次評価結果】

合計点	一次評価結果
37 点	B

標準点 ※1		
32 点	評価基準 ※2	
	S	43点以上
	A	40点～42点
	B	29点～39点
	C	28点以下

※ 1 標準点は、評価項目が全て中位の評価を受けた場合の得点。

※ 2 「S」は標準点の1.33倍以上の場合、
「A」は標準点の1.25倍以上かつ1.33倍未満の場合、
「B」は標準点の0.88倍より大きくかつ1.25倍未満の場合、
「C」は標準点の0.88倍以下の場合。

【確認事項】

指定管理者の財務状況について
代表団体である（公社）東京都障害者スポーツ協会は、経常収支の赤字幅が前期から大幅に拡大し、正味財産も前期比32.8%減少するなど、財務基盤の脆弱性が顕在化してきており、注意が必要である。

1 4 東京都多摩障害者スポーツセンター

管理状況

適切な管理の履行 協定や事業計画に沿って、施設の安全性を確保しつつ、適切に管理が行われているか	配点	評価	評価の内容
(1) 施設・設備の適切な管理（安全性の確保）	×2	○	(4)研修体制としては、政策連携団体等向けの研修や、コンプライアンス研修(想定事例を追加)、看護師によるストレッチャー・JCS意識障害等の応急救護研修、講師を招いたカスタマーハラスメント研修等を実施し、対応力の向上を図っている。また、プール救助訓練を計10回実施している。障害者雇用として、スポーツ支援課でアルバイト1名を雇用している。接遇対応については、アンケートにおける「職員の対応」の満足度が個人利用で91.8%、団体利用で85.1%となっている。
(2) 施設の清掃（清潔さ）	×1	○	
(3) 施設の警備	×1	○	
(4) 人員配置及び人材育成の取組	×1	◎	
(5) 施設の提供について	×1	○	
法令等の遵守 個人情報保護、報告等は適切に行われているか	配点	評価	評価の内容
(1) 個人情報保護・情報セキュリティ	×1	○	(3) 全館LED化や不要施設の消灯、太陽光発電導入(サイネージ等で発電量表示)を実施。供給電力量の100%を再生可能エネルギーとする電気需給業者と契約している。ゴミや各種廃棄物の適正処理のほか、グリーン購入法適合コピー用紙の使用や過剰包装削減を実施している。
(2) 情報公開の取組	×1	○	
(3) 環境配慮への取組	×1	◎	
(4) 各種法令等の遵守	×1	○	
緊急時の対応 災害や事故への備えが適切に行われているか	配点	評価	評価の内容
(1) 都への報告・連絡	×1	○	(2) マニュアル等を整備し、クラウド安否確認システムを導入している。避難誘導路の整備、AED4箇所の設置、備蓄品の保管を実施。多摩支所との合同総合防災訓練や、一時滞在施設開設訓練でのストレッチャー・JCS研修を実施したほか、全職員が救命技能認定証を所持している。
(2) 防災への配慮・緊急時対策	×1	○	
(3) 事故への対応	×1	○	
適切な財務運営・財産管理 適切な財務運営・財産管理が行われているか	配点	評価	評価の内容
(1) 収支状況（安定的な運営）	×2	○	(2)財務会計規程に基づき、主要簿および各種補助簿を作成して適切に区分管理している。毎月末に補助簿と総勘定元帳を照合し、整合性を確認している。
(2) 経理処理	×1	○	
(3) 物品の管理	×1	○	

事業効果

利用状況 利用促進効果	配点	評価	評価の内容
(1) 利用状況	×2	○	(1) 個人利用者数は108,028人(前年92,298人から17.0%増)、団体利用は1,800団体(前年1,579団体)となり、いずれも増加した。SNS(X)での発信、館内掲示の見直し、民生委員の会合参加等による周知を実施し、個人利用者が新たに団体利用を開始するケースが生じている。
事業の取組 事業計画通りのサービスが提供されているか	配点	評価	評価の内容
(1) スポーツ振興事業又は障害者スポーツ振興事業等の実施状況	×2	○	(3) 利用者の要望を踏まえ新たに「パラスポーツトレーナーアドバンスタイム」を実施し、専門トレーナーが障害に応じたトレーニング等のアドバイスを行っている。 (4) アンケートの総合満足度は個人96.2%、団体93.3%となった。案内掲示の整理やSNS(X)での発信のほか、四半期ごとに委員会を開催しシャワーブースへの衣類掛け設置やイス交換等の設備改善を実施している。 (5) 備品を取得し順次更新している。英語表記追加やバリアフリートイレ等の案内のほか、教室カレンダーのサイズ拡大、当日参加可能な教室一覧の作成、個人利用不可日の周知強化(HP、X、声掛け)、館外掲示板での教室案内掲示を実施している。また、XやInstagramを活用した情報発信を実施している。 (8) 神代植物公園での「TAMAウォーク」や、カヌースラロームセンターと連携した「パラカヌー教室」を実施した。感染症対策として、定期的な消毒・換気、オンライン教室を実施した。また、東京2025デフリンピックに向けた出場選手紹介やデジタルサイネージでの試合中継放映等を通じて、来館者への気運醸成に向けた取組を実施している。
(2) 自主事業の実施状況	×2	－	
(3) 利用者に対するサービス提供事業の実施状況	×2	◎	
(4) 利用者ニーズの把握	×2	◎	
(5) サービス向上に向けた取組	×2	◎	
(6) 苦情等への対応	×1	○	
(7) 利用促進への取組	×2	○	
(8) 都の施策への協力等	×2	◎	

※評価： ◎水準を上回る（2点） ○水準どおり（1点） △水準を下回る（0点）

【一次評価結果】

合計点	一次評価結果
42 点	A

標準点※1	評価基準 ※2	S	43点以上
32 点		A	40点～42点
		B	29点～39点
		C	28点以下

※ 1 標準点は、評価項目が全て中位の評価を受けた場合の得点。

※ 2 「 S 」は標準点の1.33倍以上の場合、
「 A 」は標準点の1.25倍以上かつ1.33倍未満の場合、
「 B 」は標準点の0.88倍より大きくかつ1.25倍未満の場合、
「 C 」は標準点の0.88倍以下の場合。

【確認事項】

指定管理者の財務状況について
代表団体である（公社）東京都障害者スポーツ協会は、経常収支の赤字幅が前期から大幅に拡大し、正味財産も前期比32.8%減少するなど、財務基盤の脆弱性が顕在化してきており、注意が必要である。

1 5 . 東京辰巳アイスアリーナ

管理状況

適切な管理の履行 協定や事業計画に沿って、施設の安全性を確保しつつ、適切に管理が行われているか	配点	評価	評価の内容
(1) 施設・設備の適切な管理（安全性の確保）	×2	○	(2) 「清掃作業基準書」やマニュアルを整備し、日常・定期・大会使用後清掃を実施。清掃満足度は個人97.4%、団体100%となった。また仕様書に基づく植栽管理や害虫駆除を実施している。 (4) 必要な人員や有資格者を配置し責任者を明確化している。人材育成においては、「ビジネスアスリートシステム」等に基づく研修計画を策定し、適正な研修を実施している。約55名のアルバイト職員に対しても、eラーニング等を活用し適切な指導と訓練を実施している。
(2) 施設の清掃（清潔さ）	×1	○	
(3) 施設の警備	×1	○	
(4) 人員配置及び人材育成の取組	×1	○	
(5) 施設の提供について	×1	○	
法令等の遵守 個人情報保護、報告等は適切に行われているか	配点	評価	評価の内容
(1) 個人情報保護・情報セキュリティ	×1	○	(1) 個人情報の収集にあたっては利用目的に必要な範囲にとどめ、WEBを通じて適切に収集する仕組みを整えている。具体的には、スクール入会や自主事業体験会、大会の申込みにおいて外部サービス「スマートハロー」を利用し、紙媒体を用いない完全WEB申込み体制による安全性の向上を図っている。 (3) 照明の間引き点灯やボイラー等の稼働台数制御を実施。ゴミの分別・リサイクルや、グリーン認証製品のコピー用紙等を使用したグリーン購入を実施している。
(2) 情報公開の取組	×1	○	
(3) 環境配慮への取組	×1	○	
(4) 各種法令等の遵守	×1	○	
緊急時の対応 災害や事故への備えが適切に行われているか	配点	評価	評価の内容
(1) 都への報告・連絡	×1	○	(1) 「緊急連絡網」及び「連絡体制表」を整備し、都への連絡体制を構築している。事案発生時には、都への一次報告をTeamsで行う運用とし状況を迅速に共有している。 (3) 重大な事故の発生は無い。一般事故については、メール等により都へ報告するとともに、各種報告書により記録・管理している。施設運営に係る保険については、補償内容の確認・見直しを行い、3月4日に必要な対応を完了した。
(2) 防災への配慮・緊急時対策	×1	○	
(3) 事故への対応	×1	△	
適切な財務運営・財産管理 適切な財務運営・財産管理が行われているか	配点	評価	評価の内容
(1) 収支状況（安定的な運営）	×2	○	(2) 経理を区分し収支報告書と帳簿の整合性を確認している。券売機は原則現金非対応とし、日報報告と金庫保管を実施。施設責任者の日次確認と本社経理部の月次チェックを行い、帳簿等は鍵付き書庫で保管している。 (3) 貸与備品は一覧表に基づき管理し1月に棚卸しを実施。都と指定管理者の物品はシールで区別している。日々の見回りで安全確認を実施しており、今年度の使用不適品等の発生は無い。
(2) 経理処理	×1	○	
(3) 物品の管理	×1	○	

事業効果

利用状況 利用促進効果	配点	評価	評価の内容
(1) 利用状況	×2	○	(1) 令和7年9月に開業。7か月で個人利用者は14,556人、14大会を開催し、総来場者数は96,321人となった。開業イベント時より、地元区の教委員会や学校と連携し資料者増の取組を進めている。
事業の取組 事業計画通りのサービスが提供されているか	配点	評価	評価の内容
(1) スポーツ振興事業又は障害者スポーツ振興事業等の実施状況	×2	○	(2) 都内における競技人口が少ないカーリングの関心層を拡大する目的で体験イベント等を開催し、「チームを組んで試合がしたい」というニーズを捉え、競技開始1年以内の初心者を対象とした「デビューカップ」を実施したほか、令和8年度からは定期的なカーリング教室を開催する計画を立てている。 (5) 競技利用が集中する時期に一般利用の機会が限られる課題に対し、通常開館時間外に一般利用が可能な「ナイトスケート」および「ナイトカーリング」を実施している。ナイトスケート(計11回)の参加者数は当初の13名から直近では約40名へと増加している。また、ナイトカーリング(計3回)の参加者は28名、38名、50名と増加している。多様な利用者に配慮した環境整備においては、時間帯やエリアの条件を設けた上で、一般開放時のパラアイスホッケー用スレッジでの滑走を可能としている。
(2) 自主事業の実施状況	×2	○	
(3) 利用者に対するサービス提供事業の実施状況	×2	○	
(4) 利用者ニーズの把握	×2	○	
(5) サービス向上に向けた取組	×2	◎	
(6) 苦情等への対応	×1	○	
(7) 利用促進への取組	×2	○	
(8) 都の施策への協力等	×2	○	

※評価： ◎水準を上回る（2点） ○水準どおり（1点） △水準を下回る（0点）

【一次評価結果】

合計点	一次評価結果
35 点	B

標準点 ※1	評価基準 ※2	S	46点以上
34 点		A	43点～45点
		B	30点～42点
		C	29点以下

※1 標準点は、評価項目が全て中位の評価を受けた場合の得点。

※2 「S」は標準点の1.33倍以上の場合、
「A」は標準点の1.25倍以上かつ1.33倍未満の場合、
「B」は標準点の0.88倍より大きくかつ1.25倍未満の場合、
「C」は標準点の0.88倍以下の場合。

【確認事項】

指定管理者の財務状況について
代表団体であるセントラルスポーツ㈱は増収増益となり、流動比率や固定長期適合率などの財務指標も改善傾向にある。財務上の懸念は見られない。